

参 考 資 料

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 長寿医療に関する基本計画検討会メンバー | ・・・参考1 |
| 2. 長寿医療に係る経緯 | ・・・参考2 |
| 3. 長寿医療の現状 | |
| (1) 先進諸国の高齢化率の推移 | ・・・参考3(1) |
| (2) 米国長寿関連施設視察状況 | ・・・参考3(2) |
| (3) 国内の現状 | |
| A. 厚生科学研究費の概要 | ・・・参考3(3)A |
| B. 長寿医療関連医療施設 | ・・・参考3(3)B |
| 4. 既存ナショナルセンターの機能、規模等 | ・・・参考4 |

長寿医療に関する基本計画検討会のメンバー

あおやぎ たかし
青 柳 俊 社団法人日本医師会常任理事

いとう まさお
伊 藤 正 男 特殊法人理化学研究所脳科学総合研究センター所長

おりも はじめ
折 茂 肇 東京都老人医療センター院長

かわむら さわこ
川 村 佐和子 東京都立保健科学大学保健科学部教授

きた とおる
北 徹 京都大学医学部教授

こばやし ひですけ
小 林 秀 資 国立公衆衛生院長

そぶえ げん
祖父江 元 名古屋大学医学部教授

○ もり わたる
森 亘 日本医学会会長

もりしま あきお
森 篤 昭 夫 財団法人地球環境戦略研究機関理事長

やなぎさわ のぶお
柳 澤 信 夫 国立療養所中部病院名誉院長

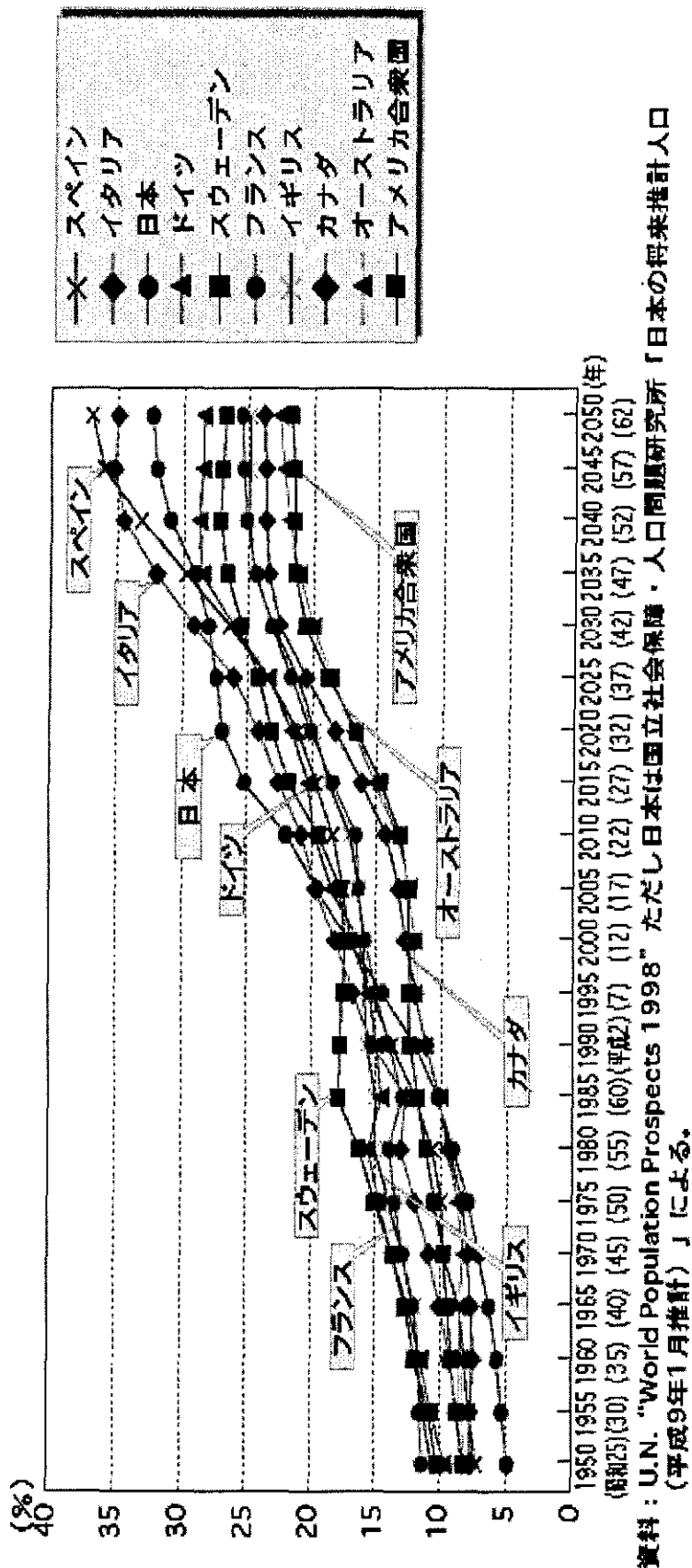
(○ 座長、50音順)

平成13年8月27日 現在

長寿医療に係る経緯

- 昭和55年11月 ●日本学術会議が、国立老化・老年病センター（仮称）の設立を勧告
- 62年 9月 ●昭和天皇御長寿御在位60年記念事業による長寿科学研究組織検討会が「長寿科学研究センター（仮称）基本構想」を提出
- 平成 元年11月 ●長寿科学研究センター検討会が報告書（長寿科学研究の振興のために）を提出
- 7年 7月 ●国立療養所中部病院長寿医療研究センター開所（4部13室）
- 10年 7月 ●高齢者包括医療病棟（50床）の開設
●長寿医療研究センターの体制整備終了（8部21室）
- 11年 3月 ●国立療養所中部病院のナショナルセンター化を公表（国立病院・療養所の再編成計画の見直し）
- 11年12月 ●ゴールドプラン21（大蔵・厚生・自治）において、長寿医療に関する診療・研究体制等の国立高度専門医療センターの整備について記載
- 12年 8月 ●メディカルフロンティア戦略において、長寿医療研究に関する基盤整備について記載
- 13年 8月 ●長寿医療に関する基本計画検討会を開催

先進諸国の高齢化率の推移



米国長寿関連施設視察状況

1. 視察者

柳澤 信夫	国立療養所中部病院名誉院長
下方 浩史	国立療養所中部病院長寿医療研究センター疫学部長
岩尾 智	愛知医科大学加齢医学研究所講師
名越 究	厚生労働省国立病院部政策医療課政策医療推進官

2. 日程

9月 5日	ジョンズ・ホプキンス大 老年病センター 他 (ボルチモア)
6日	NIA 老年学研究センター (ボルチモア)
7日	NIA 事務局 他 (ベセスダ)
10日	ミシガン大学老年病センター 他 (アン・アーバー)
11日	ミシガン大学公衆衛生学部 他 (アン・アーバー)

3. 視察施設の概要

(1). NIA (米国国立老化研究所)

1) Intramural Research Program

- 予算 約\$77,500,000 (約80億円)
- 研究組織 10の Laboratory
- 主な研究内容
 - (1) characterization of normal aging
 - (2) cell cycle regulation and programmed cell death
 - (3) stress response
 - (4) DNA damage and repair
- 臨床研究を行う場がほとんどなく、提携先を確保する必要がある (ジョンズ・ホプキンス大学との今後の提携については不透明)。

2) Extramural Programs

- 予算 約\$580,000,000 (約600億円)
- 1年に3回開催される National Council of Aging Science (NCAS) で決定される。
- 3~5年の研究期間。採用後、平均4年で評価を受ける。
- 外部評価の結果から、内容も変更していく。

(2) 一般の大学・研究所

- N I A (N I H) 等からの Grant が重要な資金となる。
- Grant について、定期的 (約 4 年に一度) に評価を受ける。
- 大学における研究者の評価は獲得した外部 Grant による。
- 病院その他の関連施設との連携による臨床研究が容易。
- 国の医療施策に基づく研究目標設定。
- 基礎・臨床の区分のない、目標達成型研究の実施。
- 国立研究所の行う研究とそれ以外の研究機関の研究については、明確に内容予算を区分。
- 研究成果に対する定期的な厳しい評価の実施。
- 進行中のプロジェクトの内容に応じた各研究機関のフレキシブルな組織再編 (フレキシブルであるが故に Director の権限が必要以上に強くなる傾向あり)。
- 研究者が臨床・基礎の区分なく必要なところに必要なポストを得られる柔軟な人事 (身分の保障は無い)。

4. 米国における老年医学・医療の提供について (医療現場を概観して)

- 高齢社会を控え、老年病学への関心は高まりつつある。
- 現在、高齢化社会を克服する研究を行うと同時に、老年病の専門家を教育する体制を整えつつある。
- 先駆的な取組に関する実証的な研究が数多く実践されている。
- 現時点では、在宅診療、在宅介護及びナーシングホーム等の高齢社会における制度の整備が十分でなく、今後、問題化することが予想される。

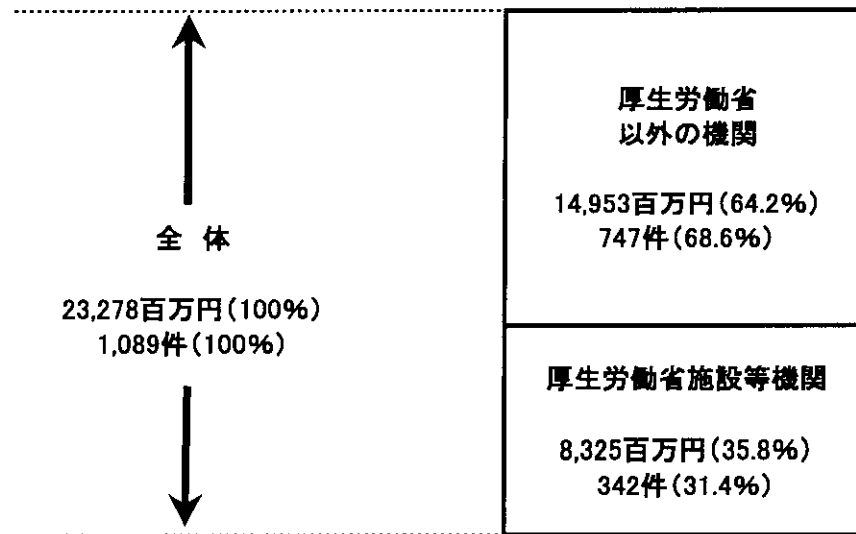
5. 長寿医療に関するナショナルセンターを考える際の留意点

- 長期的な視野に立った目標達成型の研究の実施
- 研究プロジェクトに連動した柔軟な組織
- 臨床と一体となった研究体制
- 厳格な定期的外部評価
- 病院における先駆的モデルへの取組み
- 教育・研修機能の充実

厚生科学研究費の概要

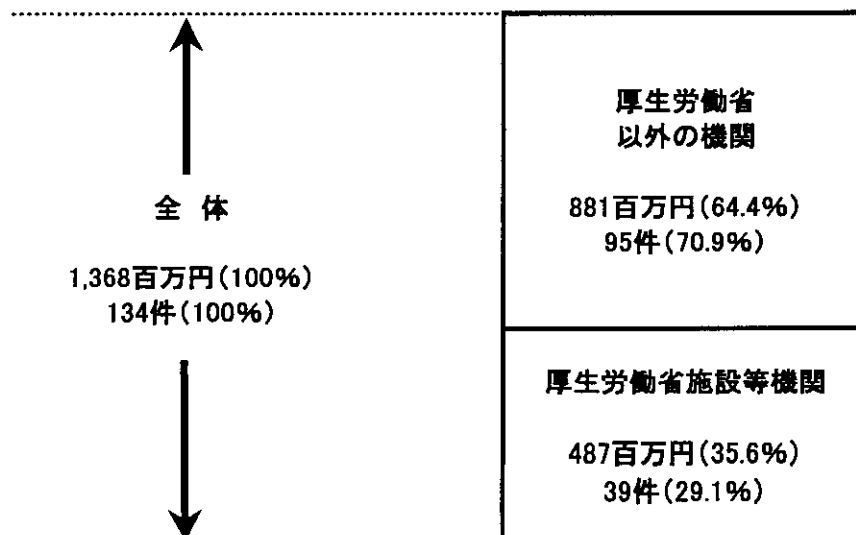
1. 厚生科学研究の採択状況(平成13年度)について

	全体	厚生労働省施設等機関
金額	23,278 百万円 (100 %)	8,325 百万円 (35.8 %)
件数	1,089 件 (100 %)	342 件 (31.4 %)

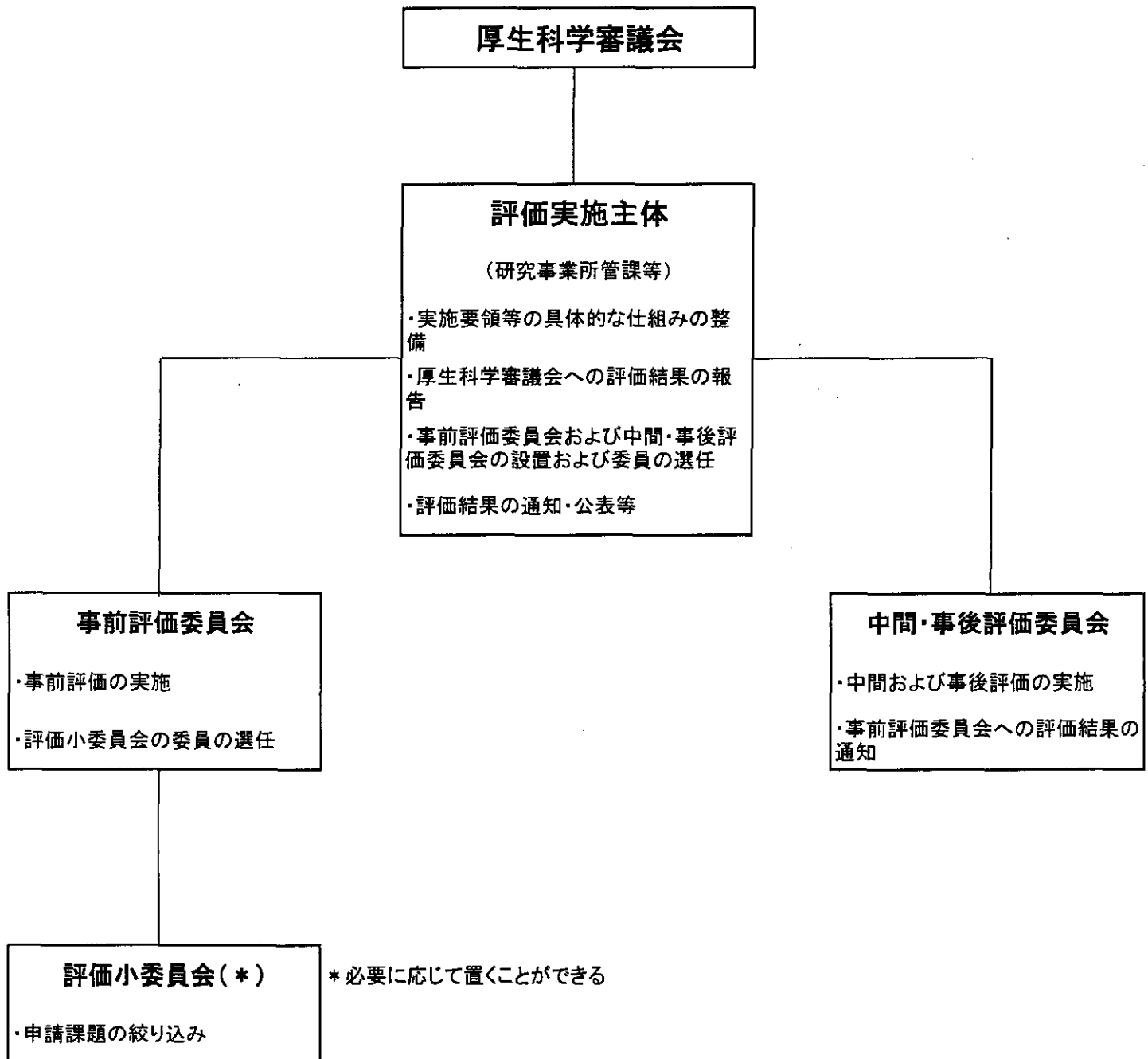


2. 長寿科学総合研究分野の採択状況(平成13年度)について

	全体	厚生労働省施設等機関
金額	1,368 百万円 100 %)	487 百万円 (35.6 %)
件数	134 件 100 %)	39 件 (29.1 %)



3. 研究課題の評価の実施体制



長寿医療関連医療施設

	東京都老人医療センター	東京都老人総合研究所
施設の性質	医療機関	研究機関
設置年	昭和47年	昭和47年
組織	事務局 各診療科等部門 老年学情報センター	次長(事務局) 分子老科学研究系 生理老科学研究系 病態老科学研究系 人間科学・リハビリテーション研究系 社会学・社会医学研究系 老化科学技術研究系 ポジットロン医学研究施設
事務・運営部局	2課	1課
病床数	711床	
診療科	※医療法上許可病床数 20診療科	
経営費	約127億円 ※H12	
組織		33部門
経営費		約28億円 ※H10
総定員数	727名	159名

医療機関における老年医学に関する文言を冠した部門(24部門)

- 北海道大学大学院医学研究科予防医学(老年保健医学)講座
- 弘前大学医学部老年科学講座
- 秋田大学医学部老年科学講座
- 東北大学大学院医学系研究科内科病態学(老年・呼吸器病態学)講座
- 東北大学加齢研究所
- 日本医科大学医学部老年医学講座
- 日本医科大学老人病研究所
- 東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座
- 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科老年病総合臨床医学講座
- 慶應義塾大学医学部老年科講座
- 東京医科大学医学部老年病学講座
- 杏林大学医学部高齢医学講座
- 信州大学医学部老年医学講座
- 信州大学医学部附属加齢適応研究センター
- 金沢医科大学医学部老年病学講座
- 岐阜大学医学部高齢医学講座
- 名古屋大学大学院医学研究科発育・加齢医学(老年科学)講座
- 愛知医科大学加齢医学研究所
- 京都大学大学院医学研究科臨床生体統御医学(成人・老年病態学)講座
- 大阪大学大学院医学系研究科加齢医学講座
- 神戸大学医学部老年医学講座
- 愛媛大学医学部老年病学講座
- 高知医科大学医学部老年病学講座
- 九州大学大学院医学研究科老年医学講座

※出典：医育機関名簿2000-01

参考 4

既存のナショナルセンターの機能、規模等

	国立がんセンター	国立循環器病センター	国立精神・神経センター	国立国際医療センター	国立成育医療センター (仮称)
設置年	昭和37年	昭和52年	昭和61年	平成5年	平成14年予定
組織	運営部 中央病院 東病院 研究所	運営部 病院 研究所	運営部 武蔵病院 国府台病院 神経研究所(武蔵) 精神保健研究所(国府台)	運営部 病院 研究所 国際医療協力局	運営部 病院 研究所
運営部	8課、図書館 ※うち3課は東病院	5課、図書館	7課 ※うち3課は国府台病院	3課、図書館	4課1室、図書館
医療法上 許可病床数	中央病院:600床 東病院:425床	640床	武蔵病院:950床 国府台病院:780床	925床	500床
診療科	中央病院:24科 東病院:18科	17科	武蔵病院:11科 国府台病院:19科	26科	25科
経営費 (H13年度予算額)	中央病院:約151億円 東病院:約82億円	約189億円	武蔵病院:約55億円 国府台病院:約57億円	約148億円	
組織	18部59室 ※うち4部12室は支所(東)	14部53室	神経研究所:14部37室 精神保健研究所:10部23室	14部32室	13部42室
経営費 (H13年度予算額)	約22億円	約21億円	神経研究所:約17億円 精神保健研究所:約7億円	約9億円	
総定員数	1,196名	951名	929名	1,000名	678名